



御田小 研究だより

平成28年10月24日
港区立御田小学校
校長 三浦 和志

第3回研究授業報告

10月5日(水) 5校時 6年
授業者 堀内 潤美、吉田 優美
高田 悠平、六本木 友樹

<算数> 単元名「拡大図と縮図」

<単元でねらっていること>

○拡大図や縮図の観察やかくことを通して、拡大図、縮図の意味や性質について理解し、図形の理解を深め、図形に対する感覚を豊かにする。

<本時のねらい>

・拡大図、縮図のかき方を考え、説明することができる。

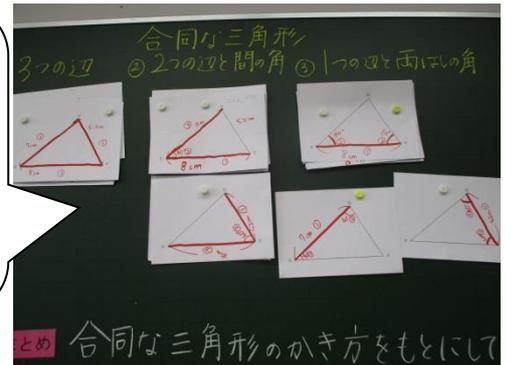
【ユニバーサルデザイン化の視点から】



本時のねらいから授業の山場を決め、「めあて」を「どうすれば拡大図をかくことができるだろうか」と設定し、本時の流れを考えました。(焦点化)

拡大図をかく際に使用した辺や角に色を付けて発表することで、友達と自分の考えの違いに気付いたり、分類したりすることができました。

(視覚化・共有化)

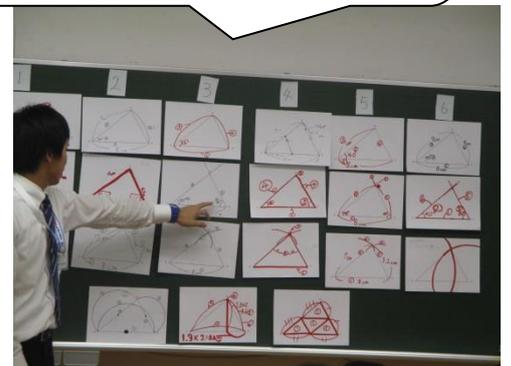


習熟度に合わせて授業を展開することで、拡大図のかき方についてより理解を深めることができました。(焦点化)



ペア、トリオ、グループなど実態や目的に合わせて、友達と活動することで、安心して学び、自分の考えをもつことができました。

(視覚化・共有化)



<授業を終えて>

習熟度に応じて、拡大図のかき方について、自分の考えをペアやグループで説明し合ったり、比べ合ったりしながら、理解を深めました。そして、合同な図形のかき方を基にして、拡大図の性質を使えば、拡大図をかくことができることに気付きました。今後も、互いに考えを伝え、話し合い、新たな考えを導き出すような学習を工夫して、指導していきます。